



10月3日 東地申10号

申し入れの根拠については  
TOKYO MAIL NEWS59号をご覧ください↓

## 「2023年ダイヤ改正等について」の検証 に関する申し入れ【新宿運輸区】提出！その1



### 〈申し入れ事項〉

#### 「共通」

1. 前泊の解消や交番作成上の観点から、遅日勤と早日勤の数を同数とすること。
2. 運転士・車掌の整理時間を実態に即した時間にするため以下の整理時間を拡大すること。
  - ① 湘南新宿ライン担当の行路を3分拡大
  - ② 相鉄担当の行路を3分拡大
  - ③ 優等列車行路を10分拡大
3. 以下の列車を羽沢横浜国大駅の乗継時間を15秒拡大し1分30秒とすること。
  - ① 平日 124M・152M
  - ② 休日 136M、146M
4. お客さま混雑緩和の観点から、平日 2547Y～4536Y を15両とすること。
5. 休日小田原駅場面 2821Y～2828Y の折り返し時分を1分拡大すること。
6. 新宿駅3番線は平日・休日の夕方時間帯でホーム上が大変混雑していることから、折り返し時間を拡大すること。
7. 平日大船駅場面 2566Y の前走りとなる横須賀線 A 線 2110S のスジを見直すこと。

#### 「運転士」

1. 湘南新宿ラインにおける東海道線、横須賀線の混みでの行路作成は、停車パターンが異なるため停車駅通過など事象発生リスクが高まると同時に、異常時の回しの観点から作成をおこなわないこと。
2. 新人運転士・線見運転士の教育・指導する観点から、田町派出所・国府津車両センター・池袋運輸区構内の出区点検時間を10分拡大すること。
3. 熱海駅場面で時間僅少の中でドア開扉・行先設定・案内設定などの作業をすることから、以下の列車における熱海駅での停車時分を3分以上とすること。また、停車時分を拡大できない場合は車掌がドア開扉行先設定案内設定の作業をするよう変更すること。
  - ① 平日 1005 行路 回 4872M～1872E
  - ② 休日 1006 行路 回 4640M～1640E
  - ③ 休日 1009 行路 回 4632M～1632E
  - ④ 休日 1014 行路 回 4850M～1850E
  - ⑤ 休日 1013 行路小田原駅場面回 2825M～2826Y エンド交換場面においてもドア開扉・行先設定・案内設定をすることから折り返し時分を1分以上拡大すること。

安全で働きがい・生きがいが持て健康的で

労働時間管理が充実した仕事を実現しよう！



10月3日 東地申10号

申し入れの根拠については  
TOKYO MAIL NEWS59号をご覧ください↓

## 「2023年ダイヤ改正等について」の検証 に関する申し入れ【新宿運輸区】提出！その2



### 〈申し入れ事項〉

4. 休日来宮駅場面、回 4627M～回 4674M の折り返し時分を拡大すること。出来ない場合は下1番線から上1番線に変更した上で折り返し時分の拡大をすること。
5. 平日 321M 東京駅～熱海駅担当を国府津駅までの担当とし、長時間乗務解消を検討すること。
6. 平日 3028M、3030M、休日 3035M の各駅の停車時分を1分確保すること。
7. 平休、休休 1013 行路の睡眠を目的とした乗務中断時間を拡大すること。
8. 以下の行路について、食事を目的とした乗務の中断時間を拡大すること。
  - ① 平日 1002 行路 1586E～回 1853E の国府津駅場面
  - ② 平日 1010 行路 2554Y～2559Y の新宿駅場面
  - ③ 休日 1014 行路 2850Y～2857Y の新宿駅場面
9. 日中時間帯の新宿駅場面 NEX 担当時、交差支障が起きるため新宿駅の到着時間を調整し解消を図ること。
10. 新宿駅～渋谷駅間の区間運転時分は4分30秒を基準とすること。
11. 平日、休日 1010 行路の労 A 時間を短縮すること。

#### 「車掌」

1. 平日・休日 5050M 松本駅～甲府駅間に改札行路を設定し、2人乗務とすること。
2. 以下の行路において食事を目的とした乗務の中断を拡大すること。
  - ① 全日 3 行路 3140M～回 5151M の新宿場面
  - ② 平日 44 行路 2554Y～2559Y の新宿駅場面
3. 以下の行路については乗務距離を500キロ以内に設定すること。
  - ① 平平 32 行路
  - ② 平平 33 行路
  - ③ 休休 32 行路
  - ④ 休休 33 行路
4. お客さまの混雑緩和に向けて、13M、53M を12両編成での運用とすること。
5. 全日 2 行路の拘束時間を短縮すること。
6. コロナ禍よりインバウンドによる利用実績が増えていることから、混雑緩和の観点から平日・休日の8時台に特急富士回遊を新設すること。

以上

**安全で働きがい・生きがいを持って健康的で  
労働時間管理が充実した仕事を実現しよう！**